

# 株式会社STEQQI



## 九州を代表する動画制作会社に

### 企業概要

社名：株式会社STEQQI  
代表取締役：WATCHARAINTHORN KHAMKHERD  
所在地：〒874-0926  
大分県別府市京町11-8  
APU Plaza Oita 2F 個室B  
TEL：080-4288-3558  
URL：<https://ja-jp.facebook.com/steqqi>  
設立：2018年4月  
業務内容：動画制作、写真撮影、コンサルティング



株式会社STEQQIは、動画制作、写真撮影や海外展開のコンサルティング等を行う会社です。代表である私は、タイから立命館アジア太平洋大学（APU）に留学のため来日し、大学卒業後2人の仲間とともに会社を立ち上げました。

会社名に興味を持ってもらえることが多いのですが、由来・発音は日本語の「ステキ」で、ローマ字表記に装飾を加え「STEQQI」としました。“S”には、Strategy、Storyの意味も込め、“QQ”はフォルムが目似ていることから、カメラから世界を見る様子と「幅広い視野から物事を見る」という弊社の理念を表現しています。



弊社は社内に3カ国（タイ・ベトナム・日本）の出身者が在籍しており、多様な視点を持っていることが強みです。それぞれの文化・風習・考え方の違いから、同じ作品を見ても感じ方が人によって異なり、面白いと感じる人もいればそうでない人もいます。私たちは多様な価値観を持った人々がいるということ念頭において、多くの人々が魅力を感じる動画を制作できるよう努めています。



弊社は動画制作の中でも、PR動画の制作を主に行っています。企業の広報手段としていくつかの方法がありますが、動画を使用したPRの内、最も人目につきやすいCMは、数十秒という短い時間で見る人の記憶にいかにか印象づけるかが重要で、見る人が企業への興味を持つきっかけとなります。一方でPR動画は、CMよりも長い2・3分の時間をかけて、伝えたい内容を1本にまとめた作品を指します。説明要素を盛り込みながらも、見る人が退屈せず、かつ分かりやすく伝えるために、ストーリーや構成が非常に重要です。

## 趣味からビジネスへ

私は、13歳の頃から趣味で動画撮影を始めました。将来的に動画制作に関する仕事に携わりたいという思いはありましたが、自身の日本語能力を踏まえると、当初は起業という選択肢は考えていませんでした。

一方で、大学時代にコンペで他者と協力して作品を手掛けた経験から、プロジェクトを率いることができる感触はありました。また、PRツールとして動画を制作している企業は少ないため、ビジネスとして取り組むことができるのではないかと考え、周囲も私の考えに賛同してくれたことで、起業に対する思いが芽生えました。

そして、おおいた留学生ビジネスセンター（SPARKLE）への相談等を通じて、ビジネスを始めるには具体的に何が必要なのかを学び、サポートを受けながら起業に向けた準備を進めました。



さらに、大分はビジネスコストが比較的安く、同じクオリティの動画を制作する場合でも、大都市より制作費を抑えられることから、大分・九州内だけでなく、他地域からの仕事の依頼も多いです。

撮影は主に大分県内の撮影スポットで行っており、いくつかの作品には地元の方々やAPUの学生に出演していただきました。また、多国籍のAPUの先生やスタッフの方々に制作した動画を視聴してもらい、幅広い視点からの意見を求めることもあります。今後も、今まで築いてきたネットワークを大切に、大分・九州の人々や環境と関わりながら事業を進めていきたいと考えています。



ニッポンものづくりフィルムアワード グランプリ受賞  
「小鹿田焼 BELONG | 小鹿田焼 陶工」

## 九州のビジネス環境

日本でビジネスを行うにあたって、課題もありますが、学生時代から馴染みのある土地での起業ということもあり、周囲の暖かいサポートや協力を感じる場面も多々あります。

起業の際は、法律用語等の意味を理解することが難しい上に、必要となる書類が多いため苦労しましたが、SPARKLEや行政書士等専門家の方々の全面的なサポートに助けられました。

また、ビジネスを始める以前から、コンペに出場したり、APUのPR動画を制作したりしていたため、起業した際には、周囲の方々がすでに弊社の動画のクオリティやスタイルを理解してくれていました。そのため、現在はまだスタッフが少なく営業活動等に時間と人を割けない状況にも関わらず、企業の方から動画制作を依頼していただくことが多く、非常に有り難く感じています。

## PR動画といえばSTEQQI

日本では企業の強みや商品・サービスの魅力を広報する手段として、PR動画を活用する方法がまだまだ浸透していないと感じます。今や、携帯電話やビデオカメラ等で誰でも簡単に動画を撮影できる時代です。そのため、PR動画の価値を認識していただかず、コストをかけてPR動画を制作することに後ろ向きな企業も少なくありません。しかし、動画撮影が身近になっているからこそ、ストーリーや構成の整ったクオリティの高い弊社の動画を通じて、企業の魅力を広く伝えることができていると感じています。

また、動画は主に九州を舞台に撮影しているため、多くの人に視てもらおうことで、九州の魅力を知るきっかけになればと考えています。人とのつながりや感謝の思い、そして何よりも昔から変わらない動画制作を楽しむ気持ちを忘れず、九州を代表する動画制作会社へと成長することが目標です。